

洗淨剤・化粧品等に係る排出量

洗淨剤・化粧品等の成分として使用される対象化学物質は、界面活性剤として使われる物質と、中和剤として使われる物質(洗淨剤のみ)がある。本項では、それらの2つの用途に分けて排出量の推計方法を示す。

I 界面活性剤

1. 届出外排出量として考えられる排出

界面活性剤は表1に示す需要分野の製品で成分として使用されている。このうち、化粧品、身体用洗淨剤、洗濯・台所・住宅用等洗淨剤については、ほとんどが家庭で使用され環境中へ排出されていると考えられる。また、業務用洗淨剤等については主に飲食業(食器洗い)や建物サービス業(フロア清掃)などの分野での使用が考えられる(表1)。

表1 界面活性剤の需要分野と推計区分との対応

需要分野	届出外排出量	
	家庭	非対象業種
化粧品	○	
身体用洗淨剤	○	
洗濯・台所・住宅用等洗淨剤	○	
業務用洗淨剤等		○
肥料		○

2. 推計を行う対象化学物質

日本界面活性剤工業会及び日本石鹼洗剤工業会によると、界面活性剤として使用されている対象化学物質は表2に示す8物質であり、これらについて推計を行う。

表2 界面活性剤の対象化学物質と出荷量(平成24年度)

物質番号	対象化学物質名	略称	備考	全国出荷量(t/年)
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)	LAS		46,166
224	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	AO	アミノオキシドの一種	4,280
275	ドデシル硫酸ナトリウム	AS		7,255
389	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=クロリド	HDTMAC		330
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)	AE		116,464
408	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	OPE	p-オクチルフェノールが原料	478
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	AES		11,523
410	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	NPE	ノニルフェノールが原料	829

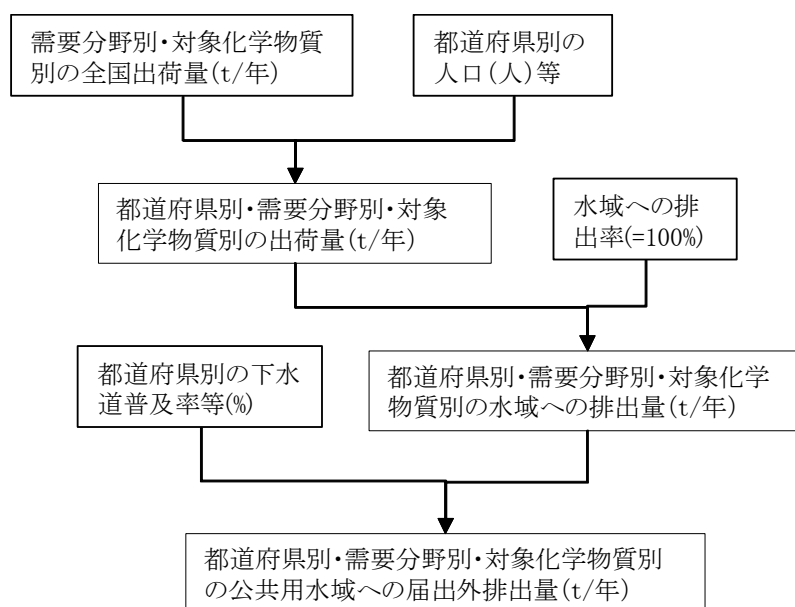
注1: 日本界面活性剤工業会・日本石鹼洗剤工業会調べ(平成25年度調査)

注2: 全国出荷量は、対象業種への全国出荷量と「農薬」における推計値を除外している。

3. 推計方法

対象化学物質別・需要分野別の全国出荷量(t/年)が把握できるため、推計対象年度の全国出荷量は全量使用され、環境中へ排出されると仮定した。その上で、使用量は人口(人)等に比例すると仮定し、都道府県別の出荷量を算出した。ただし、PRTRにおける届出外排出量としては、下水道へ移行する数量が含まれないため、都道府県別の下水道普及率及び合併浄化槽の普及率・除去率を考慮し、下水道への移動量及び浄化槽で除去される量を差し引くことにより、公共用水域への排出量を算出した(図1)。

なお、平成23年度と同様に、東日本大震災による影響を定量的に示すデータが得られないため、平成24年度についても震災影響を考慮した補正は行わなかった。



注1: 需要分野とは「化粧品」、「身体用洗剤」等を示す。

注2: 「肥料」は全量が環境中に排出される(下水道普及率は考慮しない)。

図1 洗剤・化粧品等(界面活性剤)に係る排出量の推計フロー

4. 推計結果

洗剤・化粧品等(界面活性剤)に係る排出量推計結果を図2、表3に示す。界面活性剤に係る対象化学物質(8物質)の排出量の合計は約38千tと推計される。

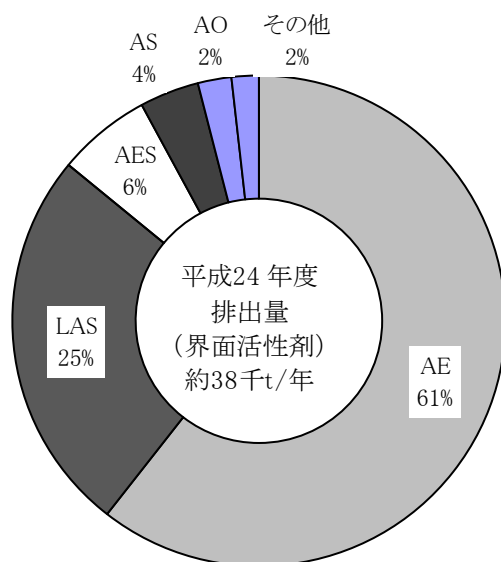


図 2 洗浄剤・化粧品等(界面活性剤)に係る排出量の推計結果(平成 24 年度;全国)

表 3 洗浄剤・化粧品等(界面活性剤)に係る排出量推計結果(平成 24 年度;全国)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
物質番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る)		1,396,958	8,296,385		9,693,343
224	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド		69,977	776,171		846,148
275	ドデシル硫酸ナトリウム		11,242	1,482,227		1,493,469
389	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=クロリド		31,999	32,032		64,031
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る)		4,144,084	19,036,661		23,180,745
408	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル		361,470	843		362,313
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム		90,393	2,269,437		2,359,831
410	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル		255,055	3,120		258,175
合 計			6,361,178	31,896,876		38,258,054

注:平成 20 年の化管法施行令の改正により対象化学物質に追加された物質を網掛けで示す。

II 中和剤等

1. 届出外排出量と考えられる排出

日本石鹼洗剤工業会によると、中和剤等は家庭用洗剤のうち主に住宅用及び洗濯用のものと業務用洗剤に使用されている。家庭用のものについては使用場所で全量が排出されと考えられ、推計対象となる。また、業務用洗剤については、飲食店、建物サービス業等で使用されるものが推計対象となる。

2. 推計を行う対象化学物質

洗剤の中和剤等として使用される 2-アミノエタノール(物質番号:20)、エチレンジアミン四酢酸(物質番号:60)について推計を行う。2-アミノエタノールは洗剤の製造段階で塩になるものがあるものの、使用段階では容易に解離して 2-アミノエタノールになり、使用量の全量が水域へ排出されるものと考えられる。

3. 推計方法

推計対象年度の全国出荷量は全量使用され、排出されると仮定する。需要分野別の全国出荷量が把握できるため、家庭用は世帯数等に比例すると仮定し、業務用については飲食店や建物サービス業等の従業員数等に比例すると仮定して都道府県別の届出外排出量を算出する。ただし、排出された対象化学物質は、界面活性剤同様、公共用水域と下水道に区分する必要があるため、下水道普及率を考慮し、下水道への移動量を差し引いている。

なお、合併浄化槽による除去率については、現時点では利用可能なデータが得られないため、今回の推計においては考慮しないこととした。

また、平成 23 年度と同様、平成 24 年度は東日本大震災による大きな影響はなかったと考えられることから震災影響に係る補正は行わなかった。

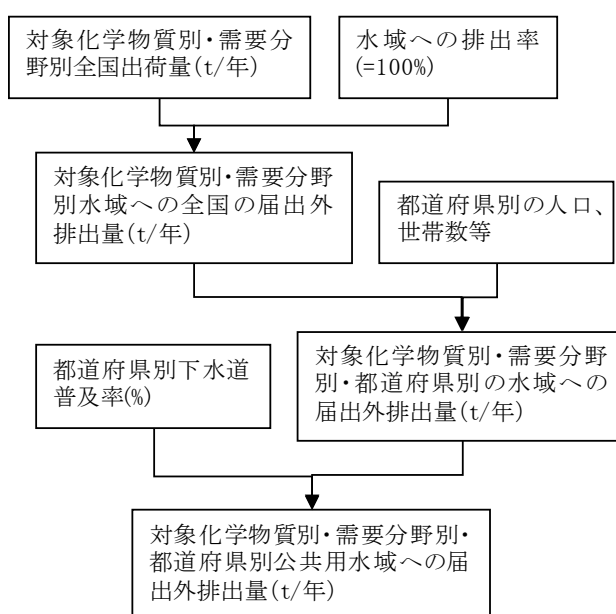


図3 洗剤・化粧品等(中和剤等)に係る排出量の推計フロー

4. 推計結果

洗剤・化粧品等(中和剂等)に係る排出量推計結果を表4に示す。中和剂等に係る届出外排出量の合計は約1.4千tと推計される。

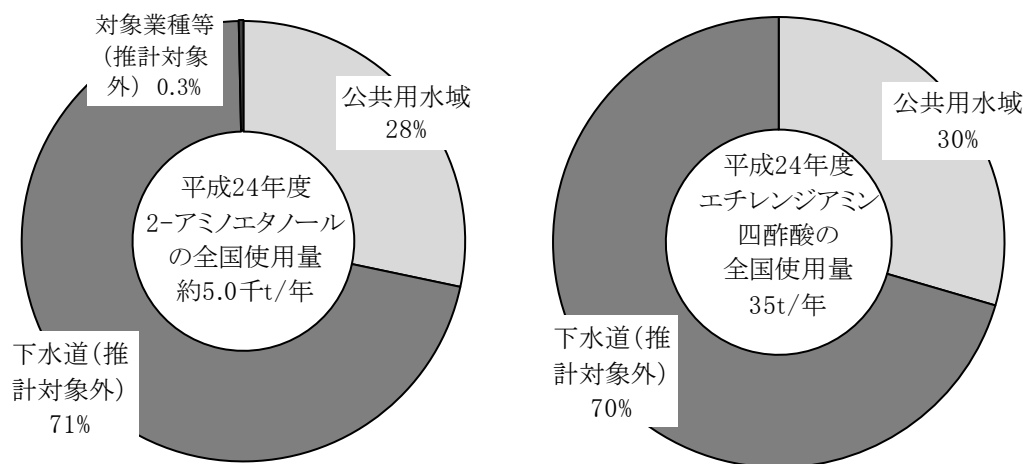


図4 対象化学物質の全国使用量(平成24年度)

表4 洗剤・化粧品等(中和剂等)に係る排出量推計結果(平成24年度;全国)

対象化学物質		全国の届出外排出量(kg/年)				
物質番号	物質名	対象業種	非対象業種	家庭	移動体	合計
20	2-アミノエタノール		59,595	1,364,367		1,423,962
60	エチレンジアミン四酢酸			10,335		10,335
合計			59,595	1,374,702		1,434,297